

## QUESTION 1 予約はどうすればいいのか？

### A 予約方法1 Webで予約する

<https://passenger.savs.miraishare.com/fukuchi/#/>



または

### 予約方法2 予約受付センターへ電話する

**☎22-3300** 【受付時間】8時半～16時半  
※ 運行時間は、8時半から17時まで。

## QUESTION 3 複数の場所に行きたいときは？

A 乗り継ぎや「ふく〜るバス」を待たせることはできません。その都度の予約と運賃のお支払いが必要です。

例えば

病院とトライアルに行きたい場合は、下記の図のように3回分の乗車予約と運賃600円が必要になります。

予約① 100 100 予約② 100 100 予約③ 100 100

自宅付近 ▶▶ 方城診療所 ▶▶ トライアル ▶▶ 自宅付近

## QUESTION 2 運賃はいくらなのか？

乗車区分	金額
大人	200円
町内の65歳以上・障がい者手帳保有者	100円
小中学生	100円
未就学児	無料

※ 中学生以下の乗車は、保護者の同伴が必要となります。

## QUESTION 4 ミーティングポイントの目印は？



A 乗り降りするミーティングポイントには、左のような目印を設置しています。なお、ミーティングポイント一覧は福智町公式ホームページで公開中。



## COLUMN 運行システムのイメージ

↓「ふく〜るバス」の詳細な説明は、広報ふくち令和4年1月号No.205で紹介しています。



実証運行の結果を反映し来月から有償運行を開始  
この「ふく〜るバス」は、事前に予約し、ご自宅付近のミーティングポイント(乗降場所)から目的地付近のミーティングポイントまで乗合で移動するもので、実証運行開始後は大きな問題もなく、日を重ねること

今後、皆さんが利用していく中で「ふく〜るバス」の便利な面だけでなく、「日中だけの運行」「ミーティングポイントの数や場所」「乗合という乗車形式」などについて小さな不便を感じる機会もあるかと思えます。それらの小さな不便さを皆さんに受け入れてもらうことで「ふく〜るバス」というサービスが初めて成立します。夜間・早朝時の利用や町外への移動などは、タクシーやへいちくを利用するなど、他の公共交通機関を選択したり、上手に組み合わせたりしながら有効的に「ふく〜るバス」をご活用ください。

「ふく〜るバス」のご活用を「便利・不便さを受け入れて」に利用者数も増加。「福祉バスよりも乗車時間が短縮され、時間の余裕ができた」、「電話一本で簡単に予約ができて便利」など、利用者のかたには一定の評価をいただいています。「町地域公共交通会議」で議論した結果、福祉バスの廃止と乗車料金(1回の乗車につき、大人200円)が決定。今年10月から従来より便利になった「ふく〜るバス」の本格運行が始まります。

## 企画 公共交通を未来へ

# 乗って残そう暮らしの足

私たちの日常生活に欠かせない公共交通の再編に向け、令和2年度から検討と準備を進めてきた福智町。その取り組みが結実し、今年10月から予約型乗合バス「ふく〜るバス」の本格運行が始まります。町の公共交通がリニューアルされる中、今一度その利便性や抱える課題、必要性などについて考えます。



↑人工知能を活用した公共交通システムの先進事例を共有し、議論を深めた令和2年12月開催の「福智町地域公共交通会議」。

貴重な「地域の足」を守る町公共交通再編の道のり  
通勤・通学、通院、買い物など、私たちの生活に必要な不可欠な公共交通。特に免許が取れない子どもたちや運転が困難な高齢者など「自由に車を利用できない人」にとっては、なくてはならない存在です。この公共交通を、より便利なものにしてつづつ持続可能なものにするため、福智町は令和2年度から町内の公共交通の再編に取り組んできました。課題把握のため最初に実施した「町地域生活交通確保住民意向調査」の結果を基に、地域公共交通事業者や有識者、行政などで構成された「町公共交通会議」で検討が進められ、令和3年6月には福祉バスからA1オンデマンドバスへの転換を含めた「町地域公共交通計画」を策定。計画に基づき、令和4年1月から予約型乗合バス「ふく〜るバス」の実証運行を開始しました。

「ふく〜るバス」が誕生するよりも前から、福智町をはじめとする田川地域の公共交通を担い続ける田川構内自動車(株)の「田川構内タクシー」と平成筑豊鉄道(株)の「へいちく」。このページでは、地域交通事業者として町を支え続けている両者の声を通じて、それぞれのもつ魅力や現状、抱える課題について迫ります。

# 地域の移動を支える人々の声

## HEISEI CHIKUHO RAILWAY

## Tagawa Kounai TAXI



「時代や社会の変化に  
合わせた進化を続けて  
地域に愛される鉄道目指す」

平成筑豊鉄道株式会社  
河合 賢一 代表取締役社長

【PROFILE】 東京大学を中退後、大分県庁での勤務を経て(株)九州産業交通の取締役に就任。関連企業でも取締役を務め、公募で同社代表取締役社長に就任。



「タクシー乗務員は  
感謝されるお仕事です  
人生経験生かしませんか」

田川構内自動車株式会社  
嘉久 礼子 代表取締役社長

【PROFILE】 武蔵野音楽大学を卒業後、田川構内自動車(株)に入社。平成19年、同社代表取締役社長に就任。現在は、福岡県筑豊地区タクシー協会会長としても活躍中。



INFORMATION

昨年も大好評!日本一早い鉄道イベント開催  
**へいちくフェスタ 2023**

→ミニちくまる号や軌道自転車の乗車体験(有料)、車両展示などを実施予定。



日時

10月1日(日) / 11:00~15:00

場所

平成筑豊鉄道 金田車両基地(金田駅構内)  
〒822-1201 田川郡福智町金田1145-2

入場料金 / 駐車場

無料 / 駐車場あり



**朝**の通勤・通学、帰宅ラッシュの時に、一度に大量輸送できることが列車の最大の強みです。また、車窓に流れる地域の風光明媚な町並みを眺めながら移動できるのは、列車ならではのものと感じています。と列車の魅力語る平成筑豊鉄道株式会社・河合賢一社長。平成の幕開けと共に誕生した「へいちく」は、時代が「令和」となった今もなお、福智町と町外を結ぶ生活路線として「伊田・田川・糸田線」を毎日運行し、私たちの暮らしを支えています。

しかしながら、「沿線地域の人口減少や自動車の普及、新型コロナウイルスの影響による生活の変化などで、鉄道利用者が減少傾向にある」と厳しい現実を受け止める河合社長。利便性向上により難局を打開しようと、今年4月にはスマートフォンで定期券を購入できる「サービスを開始しました」。福智町が時代や環境に合わせた公共交通へと再編したように、我々も周囲の環境や時代の変遷に応じて進化しなければならぬ」と力強く将来を見据える河合社長。「今後も、地域の一員として利用者の目線に立ったサービスの提供を大切にしながら、地域の皆さまに愛される鉄道になれるように取組を進めていきます」と拳を込めていました。

### 昭

和25年の創業以来、田川地区の公共交通を担ってきた田川構内タクシー。自宅から直接的な地へ送る「ドア・トゥ・ドア」という強みと、社訓である「感謝」の心をもって提供する「安心・安全・快適」なサービスで地元住民から根強い信頼を得ています。しかしながら、田川構内自動車株式会社の嘉久礼子社長は「乗務員不足が深刻化し、挑戦したいこともできない状況にある」と現状を分析します。

「勤務がきつそう」、「二種免許がないと無理」、「会話や人間関係が大変そう」と思われがちなタクシー乗務員。その実情は、「私生活に合わせた自由な働き方が選択可能」、「二種免許がない場合も大歓迎(入社後、社員として給与と支援金を受けながら二種免許を取得)」、「基本は個人で活動するため、社内での会話や人間関係が楽」など、働く側のメリットが大きい職業なのです。嘉久社長は「子育て中の女性や、第二の人生を検討中の退職者、Uターン希望者、地元での就職を希望する若者などに、ぜひ乗務員として活躍してほしい」と力を込めます。入社条件は「満19歳以上(二種免許の取得可能年齢)でやる気があり、健康な人であれば大歓迎」と目を細めた嘉久社長。「あなたの人生経験を生かし、タクシー乗務員として働いてみませんか」と呼びかけていました。

INFORMATION

地元の公共交通を支えるタクシー会社で働きませんか?  
**田川構内タクシー乗務員を大募集**

職種

【未経験者大歓迎】田川市郡タクシー乗務員など  
▶二種免許取得支援制度あり/勤務時間応相談(選べる勤務時間)

応募・問い合わせ先

田川構内自動車グループ ☎44-4131



↑タクシー乗務員と乗客の利便性を追求したトヨタ「ジャパンタクシー」。田川構内タクシーでは4台待機中。

# 今ある公共交通を未来へ

人口減少や乗務員不足など、取り巻く環境の変化で状況が悪化の一途をたどる公共交通。これまで町の移動を支えてきた西鉄バス金田・方城線も今月末で廃線と、この町に公共交通がない未来も見えてきた今、私たちにできることを福智町地域公共交通会議会長の竹下靖副町長に伺いました。

## 移動支えた西鉄バス廃線 迫る公共交通のない未来

福智町の公共交通再編により、今年10月から、貴重な「地域の足」として役割を担うことになった田川構内タクシー、へいちく、そして「ふくるバス」。通勤や通学、買い物などの日常生活や、観光という側面でも魅力あるまちづくりに公共交通は欠かせません。しかしながら、自動車の普及や人口減少により、利用者の減少に歯止めがかからず、状況が深刻化しているのも事実です。



↑令和2年9月、西日本鉄道(株)から西鉄バス金田・方城線(27.55km)の廃止申し入れを受け、福智町は関係市町と継続要望を実施。結果、当初の予定より2年延長されましたが、乗務員不足や利用者減少などの理由により、やむを得なく今年9月末で廃線へ。

令和2年実施の「福智町公共交通

に関する住民アンケート」では、日常の主な移動手段として約7割の回答が「自家用車」と挙げ、公共交通の利用頻度を約5割以上のかたが「利用しない」と答える厳しい結果に。一方で、公共交通の必要性については、「将来利用したいので必要」という意見が最も多く寄せられています。この結果から「今は必要なくても、将来自分や親の運転が困難になったとき、自分の子どもや孫が通学するときに公共交通が必要」と感じているかたも多いのではないのでしょうか。それでは、「本当に必要となった時に、公共交通がなかったら…」と想像を膨らませてみて下さい。公共交通事業者の乗務員不足や不採算路線からの撤退が各地で叫ばれている現代、福智町にバスや鉄道がない未来も十分に考えられます。実際に、西鉄バス金田・方城線

は今年9月末での廃止が決定しており、最悪の事態が現実のものとなり始めているのです。

## 危機感共有し乗って残そう なくてはならない地域の足

公共交通が再編されたこの機会に町全体で危機感を共有し、移動についての選択肢を後世につないでいく責務があるのではないのでしょうか。といっても、気負ったり、難しく考えたりする必要はありません。「機会を見つけて公共交通を使う」。単純なことですが、これこそが、私たちに今できる最高の支援なのです。将来の自分や親、子ども、孫が公共交通を必要とする時が必ず訪れます。その時のために、一人ひとりが努めて公共交通を利用し、次世代の福智町へ、公共交通というバトンをつないでいきましょう。



INFORMATION

## 運行についてのお問い合わせ先

### 田川構内タクシー

田川構内自動車株式会社 配車センター ▶ ☎44-2311



### へいちく

平成筑豊鉄道株式会社 ▶ ☎22-1000



### 予約型乗り合いバス「ふく〜るバス」

役場まちづくり総合政策課 地域振興係 ▶ ☎22-7766

福智町社会福祉協議会 ▶ ☎22-3778

